

多田雅史

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol. 1 3 6】
添付ファイル: 145薬の重篤副作用 全症例_週刊ポスト_2019_12.pdf; 医薬品使用上の諸注意
(薬事新報社) __平成6年.pdf

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、
医療過誤団体、野党政党等の約300カ所へ送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。
本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

- (1)新規の情報提供希望者が身近におられた場合、**BYA-HPの「お問合せ」**をご紹介ください。
<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>
- (2)有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
- (3)情報の中で「**拡散すべき情報**」があれば、皆さんの判断で「**転送・SNS拡散**」してください。
- (4)また、皆さんが支援する政党があれば、**ベンゾジアゼピン薬害の実態を政党にお伝えください。**

【目次】

1. 145薬の重篤副作用 全症例_週刊ポスト_2019_12 (添付)
2. 医薬品使用上の諸注意 (薬事新報社) __平成6年 (添付)
3. NCNP松本俊彦医師へのインタビュー
4. ベンゾジアゼピンの副作用及び治療の体験集 (追加掲載)
5. 注釈: お送りしている本情報提供メールは、同じものを以下のBYA-HPに
掲載しています (添付資料を含め)。

【記事】

1. 145薬の重篤副作用 全症例_週刊ポスト_2019_12 (添付)
以下引用

『一般に医薬品の副作用は、薬が病院や薬局に納品される際についてくる
医薬品添付文書に記載される。しかし、発売後の薬を服用した患者に副作用
が出た場合、その薬を製造した製薬会社や医師などが厚労省に報告しなければ
ならないと法律で定められている。その情報は所管のPMDA (独立行政法人
医薬品医療機器総合機構) が精査して必要に応じて国が添付文書の改訂を
製薬会社に指示する。一連の副作用が疑われる症例に関する構報はPMDA
のホームページに公開されており、冒頭で示したものはその一部だ。』

『不眠症になった高齢者が使用するケースが多い催眠鎮静剤。抗不安剤は
「急性呼吸不全」に陥る症例が報告されている。
「マイスリー」などの催眠鎮静剤は、自律行動を司る延髄などに作用する
ことがあるため、副作用として呼吸困難に陥るリスクがあります』 (長澤氏)』

さて、発売後の薬を服用した患者に副作用が出た場合、その薬を製造した
製薬会社や医師などが厚労省に報告義務があるが、報告しているであろうか?
答えは、NOである。特に、ベンゾジアゼピンの場合、臨床現場で、既往の疾患
とすり替えられてしまうので、PMDAへ薬物の副作用として報告されていない。
一方、米国NIHはベンゾジアゼピンによるOD死データを公開している。

<https://www.drugabuse.gov/related-topics/trends-statistics/overdose-death-rates>

(図8)

適正な報告をしているのは、日本の医師か？、それとも米国の医師か？
誰にでもわかる平易な質問である。

注意：本書籍は公共図書館で「薬物の副作用の調査研究」を目的に複写申請して
入手しているものです。書籍の一部のため、全文を読まれるときは、当該の書籍を
ご購入してください。また、**本資料を第3者に送付して利益を得てはいけません。**

2. 医薬品使用上の諸注意（薬事新報社）__平成6年（添付）

副作用発生症例率が10%以上ある主な薬物をマーキングした（添付資料参照）。

クロナゼパムは「抗てんかん薬」として収載されており、副作用発生症例率
は5206症例で**27.3%の高率**である。4人に1人以上が副作用を生じており
元から、危険性の高い薬物である。それを「てんかんでない神経症状」で
服用した方は、さらに高い副作用発生率であると考えられる。

3. NCNP松本俊彦医師へのインタビュー

(1) 「患者から覚せい剤成分検出で通報」良い医師か？ Vol.1

<https://www.m3.com/open/iryolshin/article/632413/?category=interview>

(2) 処方する医師が依存症の患者を生み出す Vol.2

<https://www.m3.com/open/iryolshin/article/632414/?category=interview>

(3) 依存症は最も精神科らしく面白い Vol.3

<https://www.m3.com/open/iryolshin/article/632415/?category=interview>

4. ベンゾジアゼピンの副作用及び治療の体験集（追加掲載）

No.9 体験者（T.Y.）を掲載しました。

SI氏のHPに掲載されたものを、BYA-HPにも再掲載したものです。

[https://www.benzodiazepine-yakugai-](https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%E3%83%99%E3%83%B3%E3%82%BE%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%BC%E3%83%94%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%BB%E7%99%82%E3%81%AE%E4%BD%93%E9%A8%93%E9%9B%86/)

[association.com/%E3%83%99%E3%83%B3%E3%82%BE%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%BC%E3%83%94%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%BB%E7%99%82%E3%81%AE%E4%BD%93%E9%A8%93%E9%9B%86/](https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%E3%83%99%E3%83%B3%E3%82%BE%E3%82%B8%E3%82%A2%E3%82%BC%E3%83%94%E3%83%B3%E3%81%AE%E5%89%AF%E4%BD%9C%E7%94%A8%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B2%BB%E7%99%82%E3%81%AE%E4%BD%93%E9%A8%93%E9%9B%86/)

皆さんもご自分の体験をお送りください。出来れば、減薬の取組などがあれば
他の方の参考になります。躊躇せずに、病状の実態を公開しましょう。

必ず、今後の事態の打開につながると思います。

本メールアドレスへ本文打ち込みでお送りください。

5. **注釈**：お送りしている本情報提供メールは、同じものを以下のBYA-HPに

掲載しています（添付資料を含め）。**バックナンバーもチェック**できます。

高容量のメールを受信できない方は、「BYA情報提供メール」のページを
検索エンジンでご覧ください。

[https://www.benzodiazepine-yakugai-](https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%EF%BD%82%EF%BD%99%EF%BD%81%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB/)

[association.com/%EF%BD%82%EF%BD%99%EF%BD%81%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB/](https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/%EF%BD%82%EF%BD%99%EF%BD%81%E6%83%85%E5%A0%B1%E6%8F%90%E4%BE%9B%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB/)



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史

協議会の連絡先

愛知県及び東京都に連絡先を置く

愛知県（暫定仮）
柴田・羽賀法律事務所
〒461-0001 名古屋市東区泉1-1-35
ハイエスト久屋5F Tel : 052-953-6011

